

平成23年12月27日

各 位

公益財団法人日本刀文化振興協会

理 事 長 本阿彌 光 洲

第3回「新作日本刀・研磨・外装 刀職技術展覧会」

運営委員長 宮入 小左衛門 行平

審査委員長 小 野 博 柳

第3回「新作日本刀・研磨・外装 刀職技術展覧会」開催のご案内

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は公益財団法人日本刀文化振興協会（刀文協）の活動にご理解ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、刀文協は平成24年度の公益目的事業として、第3回「新作日本刀・研磨・外装 刀職技術展覧会」を開催します。本展は下記の通り、大臣賞等をもって優れた作品を顕彰するコンクールと併せて、その成果を広く公開するものです。好評をいただいた昨年度の実績を踏まえ、今回はさらに充実した内容を期しています。

つきましては、関係各位におかれましては、鋭意ご応募いただきますよう、まずは開催の概要に関しご案内を申し上げます。

敬具

記

1. 趣 旨

- ① 公募によるコンクールとして、新たな基準に基づく厳正な評価を通し、日本刀にかかわるすべての技術の水準向上を図り、斯界の人材育成に資する。
- ② 成果を展覧会として一般に公開し、総合的工芸品である日本刀の世界および日本刀文化について理解を深めてもらう。また、海外に向けて本展の情報を発信し、現代の日本刀・刀職技術を強くアピールする。
- ③ 刀文協の恒例の公益目的事業と位置づけ、作家・職方の登竜門として、また新たな伝統を蓄えてゆく場としての権威ある総合的展覧会とする。

2. 名 称 「日本刀—悠久の美をみつめて

—第3回新作日本刀、研磨、外装、 刀職技術展覧会」

3. 会 場 大倉集古館

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3 ・03(3583)0781

4. 会 期 平成24年6月9日(土)～7月22日(日)。

尚、授賞式は6月8日(金)、9日(土)、10日(日)の何れかの日を予定。（後日決定）

5. 部門 作刀・刀身彫刻／研磨／刀装の3部門
6. 分野 作刀・刀身彫刻・研磨・鐔（その他刀装具）・白銀（鍮その他金具）・白鞘・拵下地・柄巻き・鞘塗り・拵
7. 後援 昨年度の経済産業省・文化庁の他数機関に申請予定。
8. 授賞 特別賞（経済産業大臣賞など数点を申請）・日本刀文化振興協会会長賞  
技術奨励作・新人賞・功労賞  
金賞・銀賞・銅賞・入選

9. 応募の留意事項

《共通事項》

- ① 本展は公募により各分野の作品を募り、コンクールおよび展覧会を併せて開催するものである。審査申込資格は、刀文協の会員であるか否かを問わない。また国の内外を問わない。ただし、作刀は有資格者であること。
- ② 審査申込は、本展の趣旨に沿うものであること。
- ③ 自身が製作または研磨・施彫したものであること。ただし、刀装部門の拵については別に定める。作刀並びに鐔（その他刀装具）は、作者銘があること。
- ④ 製作または研磨・施彫後1年以内のものであること。
- ⑤ 未発表の作品であること。
- ⑥ 応募は、1分野に対し、1人1作品とする。複数の分野への審査申込は妨げないが、1作品をもって充てることは認めない（新作刀1点をもって作刀・研磨両部門への審査申込は不可）。
- ⑦ 入賞作及び大倉集古館の展示趣旨に沿う作品は会期中展覧する。
- ⑧ 審査料は、1点（1分野）につき10,000円とする。

《作刀》

- ① 美術刀剣類製作承認を受けた刀匠の作品であること。
- ② 作品には銃砲刀剣類登録証もしくは美術刀剣類製作承認書が付いていること。また、所定の諸規程に準拠していること。
- ③ 古来より踏襲されてきた素材を用い、かつ技法によっていること。
- ④ 美術刀剣としてふさわしい研磨が施されていること。
- ⑤ 作風の評価については、独創性と個性を重んじる。
- ⑥ 模作については、製作意図を精査した上、優れた作品は評価する。
- ⑦ 太刀・刀と脇指・短刀は区別せず、作品の出来本位に評価する。
- ⑧ 最初の製作承認を受けて間もない審査申込者の作品を奨励する（承認後3年以内程度の初審査申込を目途に「新人賞」などの授賞をもって）。

《刀身彫刻》

- ① 磨き（研磨）がきちんと仕上げてあること。

《研磨》

- ① 国宝・重要文化財指定品、重要美術品認定品は出品を認めない。
- ② 美術刀剣にふさわしい研磨であること。

《白銀(鍮その他金具)》

- ① 紋鍮は着せが望ましい。

《鞘塗り》

- ① 鞘だけでなく、完成した拵を審査申込すること。

《拵》

- ① 自分ですべて立案し、監修するとともに、その作業工程の一部に参画したものであること(純然たるコーディネーターとしての審査申込は、本展の趣旨に沿うものではない)。  
② 古い刀装具を採用する際は、拵全体をその時代に合わせる(時代考証をはっきりさせる)ことが望ましい。

《刀装具》

- ① 模作については、製作意図を精査した上、優れた作品は評価する。

10. 審査申込手続き

- ① 審査申込を予定される方は、別紙「審査申込書」に必要事項を記載の上、3月中にFAXまたは添付メールなどでお送りください。(期限3月31日)  
申込者には、4月10日頃までに審査申込票・審査料振込用紙などをお送りします。予定の立ちにくい場合はその旨、事前にお申し出願います。  
② 作品に所定の審査申込票などが添付なき場合、受け付けられないことがあります。

11. 受 付 平成23年4月16日(月)～19日(木)の4日間

大倉集古館図書室にて午前10時より午後4時まで。送付による受付も可。

12. 審 査 平成23年4月25日(水)～27日(金)の3日間

13. その他 図録の作成(審査申込全作品を掲載予定)

以 上

※詳細はホームページ等で逐次公表します。また、事務局にお問い合わせください。

公益財団法人日本刀文化振興協会 事務局

〒115-0044 東京都北区赤羽南2-4-7 鷹匠ハイツ301号

<http://www.nbsk-jp.org/> 電話03(5249)4440 FAX03(5249)0065 E-MAIL [tbk@nbsk-jp.org](mailto:tbk@nbsk-jp.org)

# 審査申込書

部 門	分野（審査申込予定の分野を○で囲んでください）
作刀・刀身彫刻部門	作刀 刀身彫刻
研 磨 部 門	研磨
刀 装 部 門	鐔(その他刀装具) 白銀(鍮その他金具) 白鞘 拵下地 柄巻き 鞘塗り 拵
計 点	
審 査 料	円
平成23/24年 月 日	
第3回「新作日本刀、研磨、外装、刀職技術展覧会」に上記の審査を申し込みます	
ご住所・お名前	(生年月日 大正・昭和・平成 年 月 日満 歳) (申込部門経験年数 年)
電話/FAX	
E-mailアドレス	

通信欄

---



---



---

※お知り合いに審査申込を希望される方がいましたら、ご紹介ください。  
事務局より本状をお送りします。

お 名 前	ご 住 所 ・ 電 話